

平成 24 年 8 月

黒光る鎧が自慢兵隊蟻  
つけ過ぎの香水擦つても擦つても  
項垂れてなにをか悔む夜の向日葵  
落着かずつんつるてんの浴衣着て  
いろいろを中途半端に夏果てる  
立秋の逆立ちをして秋立ちぬ  
万緑の緑臭きに辟易す  
濃淡あらず秋晴れの空の色  
下手人はゆんべの風か破芭蕉  
踊りの輪ほどけ浴衣も同様に